

人と地域が輝く教育を目指す ～児童生徒一人一人に「生きる力」を～

市では、毎年、学校教育の重点目標、各学校や教育委員会が取り組む事項を定め「旭市学校教育指導の指針」として示しています。

【平成27年度旭市学校教育指導の指針】

重点目標1：「確かな学力」を育む

個に応じたきめ細かな指導により、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、言語活動や体験活動を積極的に取り入れ、自ら学び思考し、表現する力を育成します。

- 児童生徒一人一人に、きめ細かな指導を実現するための教諭補助員の全校配置
- 児童生徒の基礎学力の底上げや、学習意欲の向上を図るための学習サポーターの配置
- 学校図書館の整備、朝の読書活動や読書週間などを推進する学校図書館司書の配置
- 家庭学習の奨励（リーフレットの配布）

重点目標2：「思いやりのある豊かな心」を育む

人間関係づくりと道徳教育の一層の充実を図るとともに、的確な判断力を育成します。

- 道徳研修会の実施、道徳授業の指導方法の工夫改善
- 児童生徒支援加配教員やスクールカウンセラーの配置

重点目標3：「健やかな体」を育む

運動に親しむ資質や能力の育成と体力の向上を図るとともに、食に関する指導の充実を図ります。

- 課外活動支援事業の積極的な活用
- 栄養教諭、学校栄養職員、食育ボランティアによる指導、地産地消の推進および安全・安心な給食の提供

重点目標4：「望ましい勤労観・職業観」を育む

「働くこと」の理解、関心・意欲の高揚を図るとともに、生きる力や将来の社会人・職業人として必要な資質・能力を育成します。

- 職場体験活動、「ゆめ・仕事ぴったり体験」への支援

重点目標5：「地域とともに歩む学校づくり」を進める

学校公開、学校評価の実施・公表、情報の発信を行い、地域と連携した開かれた学校づくりを推進します。

- 特色ある教育を行うための、学校いきいきプラン事業の実施

- 地域の優れた人材を授業に活用する事業（特別非常勤講師）の推進、旭・学び助成金（旭3S）への協力、人材リストの共有化と提供

重点目標6：「安全・安心な学校づくり」を進める

児童生徒の安全確保に配慮するとともに、家庭、地域、関係機関と連携し、防災・防犯体制の改善に努めます。

- 通学路安全推進会議の実施や子ども110番の家の依頼
- 学校の防犯体制や学校安全ボランティアの活動に対し、専門的な指導を行うスクールガードリーダーの派遣
- 放課後児童クラブの設置・管理

重点目標7：「一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育」を進める

児童生徒一人一人の教育的ニーズや、特性などに応じた特別支援教育の充実を図るとともに、特別支援教育を支える学校体制を確立します。

- 特別支援教育研修会の実施や専門家チーム、巡回相談活動の充実



学校いきいきプラン「海釣り体験」

校長リレーエッセイ 11



学校のシンボル 校庭の大銀杏

富浦小学校長
伊藤 進

昨年4月富浦小に着任したとき、大きな銀杏が手をあげ「いらっしやい」と言って迎えてくれているようでした。現在、子どもたちは大銀杏を見ながら勉強や運動に励んでいます。また木の下に集合してから仲間と一緒に下校したり、暑い夏の日には大きな腕の木陰で休んだりしています。まさに富浦小のシンボルツリーです。

昨年度、日本初の女性樹木医であり、あしかがフラワーパークの大藤の移植を行った塚本こなみ先生に「木の声

が聞こえますか」という演題で、全校児童に講演をしていただきました。その折に、大銀杏の樹齢を聞いてみたところ、推定で120歳であるということでした。

樹木の成長を考えた場合、根・幹・葉のそれぞれに大切な役割があり、3つの部位が一体となって初めて樹木を形作っており、どの部位も欠かすことはできません。しかし、もし優先順位をつけるとしたらナンバーワンは「根」と考えることができそうです。根がしっかりと土壌に根付き、適量の水分と養分が取れていれば、多少曇りの日が続いても、樹木は育っていくからです。良い根ができれば、幹や葉がたくましく成長します。

校歌の歌詞「芽ぐむ銀杏の木のように強く大地に根を伸ばし」のように、基礎・基本を大切に、しっかりと考えを持った子どもたちの育成を目指していきたいと考えています。戦争や自然災害にも耐えてきた大銀杏、富浦小が続く限り発展のシンボルとして、子どもたちの成長を見守ってほしいと願っています。